



平成 29 年 5 月 10 日

各 位

日本マクドナルドホールディングス株式会社
代表取締役社長 サラ L. カサノバ
(コード番号：2702 JASDAQ)
問い合わせ先 IR 統括責任者 中澤 啓二
TEL 03-6911-6000

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、直近の業績動向等を踏まえ、平成 29 年 5 月 10 日開催の取締役会において、以下の通り平成 29 年 12 月期の業績予想を修正することと致しましたので、お知らせ致します。

1. 平成 29 年 12 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 113,500	百万円 2,000	百万円 1,500	百万円 3,000	円 銭 22 56
今回修正予想 (B)	119,000	8,000	8,000	8,500	63 93
増 減 額 (B-A)	5,500	6,000	6,500	5,500	
増 減 率 (%)	4.8	300.0	433.3	183.3	
(参考) 前年同期実績 (平成 28 年 12 月期)	104,893	47	-151	158	1 19

2. 平成 29 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 236,500	百万円 9,000	百万円 8,500	百万円 8,500	円 銭 63 93
今回修正予想 (B)	246,000	15,000	15,000	14,500	109 06
増 減 額 (B-A)	9,500	6,000	6,500	6,000	
増 減 率 (%)	4.0	66.7	76.5	70.6	
(参考) 前年同期実績 (平成 28 年 12 月期)	226,646	6,930	6,614	5,366	40 37

3. 修正の理由

当社は、昨年取り組んだ「魅力的なメニューおよびバリュー」、「快適な店舗体験」、「ブランドの強化」の活動に加え、本年は「おいしさ」、「利便性」、「人材」という3つの分野において、革新的な取り組みに挑戦し、ビジネスの中長期的な成長を目指しています。

当第1四半期におきましては、レギュラーメニューのおいしさに徹底的にこだわる「おいしさ向上宣言」を行い、「プレミアムローストコーヒー」をリニューアルし、「おてごろマック」の新レギュラーメニュー「しょうが焼きバーガー」を発売しました。マクドナルドならではの魅力的な商品の開発、新バリューセットやおてごろマック、バリューランチの提供、お客様にもご参加いただける楽しいプロモーションの企画、人材への投資によるおもてなしサービスの向上、積極的な店舗改装などの相乗効果により売上高が増加したこと等により、経常利益は64億15百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は76億9百万円となりました。

これらの状況及び足元の好調な業績の推移、並びに貸倒引当金の一部について貸倒引当金戻入益を見込んでいること等により、業績予想の上方修正を実施致します。

(注) 上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因により上記の予想数値と異なる可能性があります。

以上